

中学校教科等研修講座(国語科)

教科等指導員 東中学校 教諭 横内 愛

担当指導主事：八束 伸明

キーワード：グループワーク 発問の工夫 目標と評価の一体化 学びがいのある授業づくり

1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題（またはテーマ）
6月1日(水)	アドバイザー 東中学校 横内 愛 授業者 下山 恭子 臨時講師	東中学校2年4組 公開授業 東中学校被服室 事後検討会	「字のない葉書」向田邦子 「学びがいのある授業づくり、目標と評価の一体化について」

2 主な内容

(1) 「字のない葉書（向田邦子）」公開授業

2年生の文学教材である「字のない葉書（向田邦子）」の公開授業を参観した。「文章中の叙述を根拠に人物像を読み取る」ことをねらいとし、文章中から読み取ったことを生徒が意見交流する場として、4人組のグループでの活動を取り入れた授業であった。

- ① 人物像の読解について
- ② ワークシートの活用について
- ③ グループワークについて
- ④ 発問、指示について

(2) 学びがいのある授業づくり、目標と評価の一体化について

「学びがいのある授業づくり」「目標と評価の一体化」をテーマに協議を行った。友だちとの関わりの中で自分の考えを広げさせる授業、授業のねらいと評価基準の設定について協議を行った。

- ① 生徒同士で認め合える授業について
- ② 自尊感情を育てる授業について
- ③ 「今日のねらい」と評価基準の設定について



3 成果と課題

(1) 成果

- ① グループワークの実践方法（メンバー編成、時間設定、話し合いの指導）や、ワークシートの活用について具体的な方法を学ぶことができた。
- ② 人物の心情から人物像や人間関係、作品のテーマに迫るための発問、「目標と評価の一体化」のための「今日のねらい」と評価基準の設定について考えることができた。

(2) 課題

グループワークの手法やワークシートの活用など、具体的実践方法を学び取ることができたので、学んだことを活かせるように模擬授業やワークなど、研修の形態を工夫する必要がある。